



内付RSII

取付け説明書

※この説明書は必ず取付けされる方にお渡しください。 ※内は、ロットNo,表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 思わぬケガをするおそれがありますので下記事項をお守りください。
- 本製品は組立て後の障子重量が最大で約50kgになります。施工は対応する人数で行ってください。
- 障子脱落のおそれがあるため、下記事項をお守りください。
- 必ず指定のスクリーュー釘・木ねじで枠を固定した後、障子を建込んでください。
- 障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。障子が落下するおそれがあります。

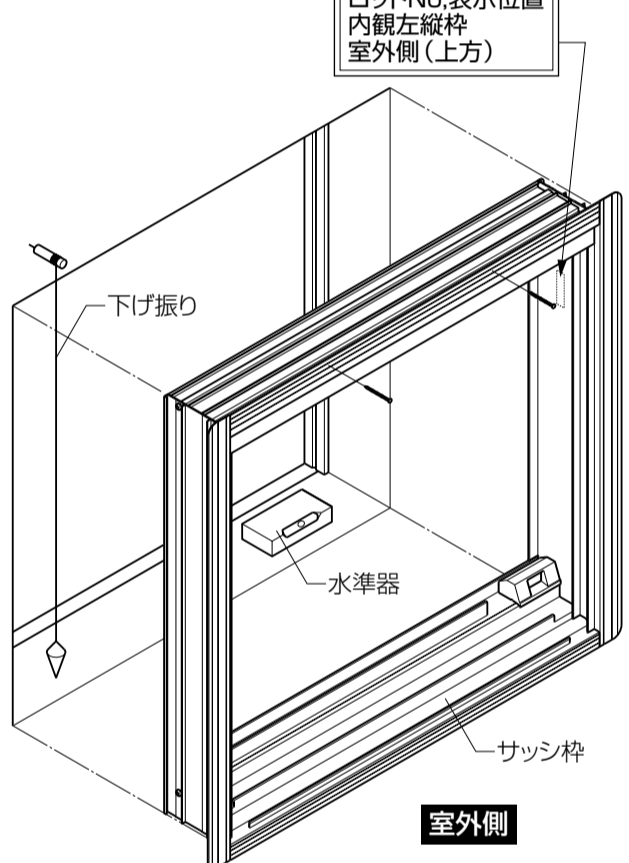
■取付け部品・ねじ一覧表

記号	イ	ロ	ハ	ニ	ホ
図名・名称					
	スクリーュー釘φ2.1×30	血木ねじφ3.5×38	血木ねじφ3.1×20 (マド下枠のみ)	血木ねじφ3.5×38 (テラス下枠のみ)	テラス下枠室内 端部キャップ (テラス下枠のみ)
取付け位置	枠釘打ちフィン部固定用	枠見込み方向固定用	下枠アングル部固定用		下枠(室内側)両端部

■取付け順序

※本図はマドタイプを示しています。

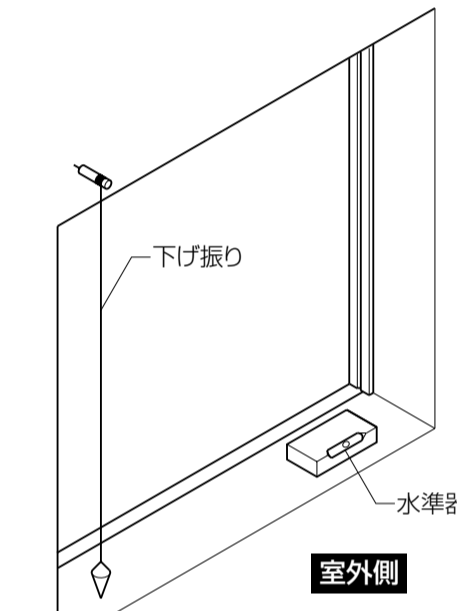
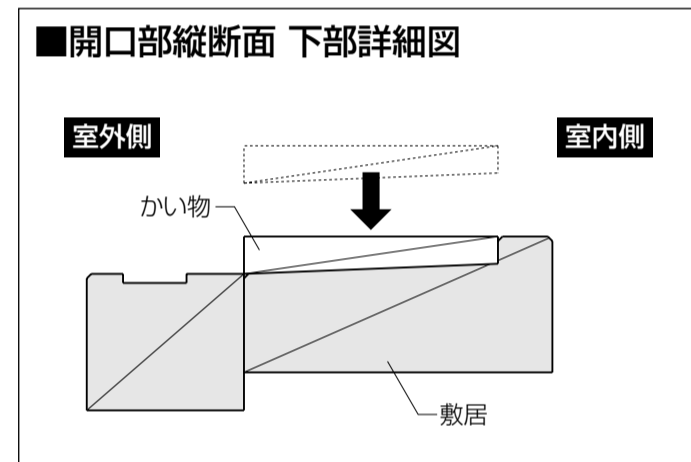
1 枠の固定



■取付け詳細

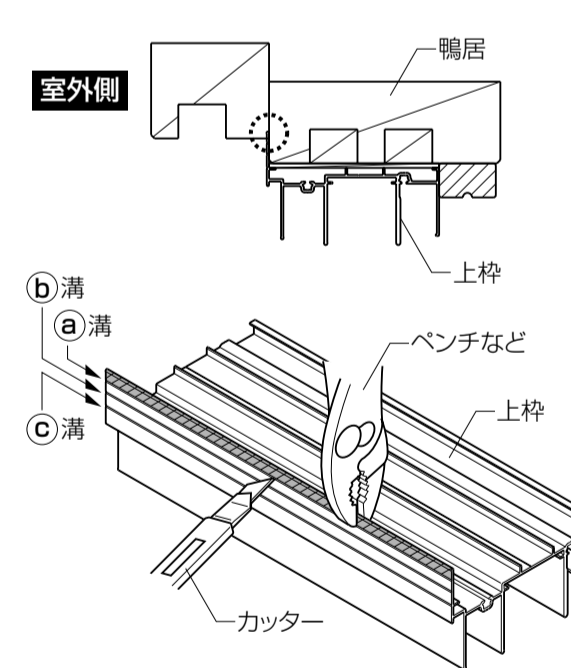
1 枠の固定

①開口部の水平・垂直を確認し、敷居の段差にかい物を入れ、段差をなくします。

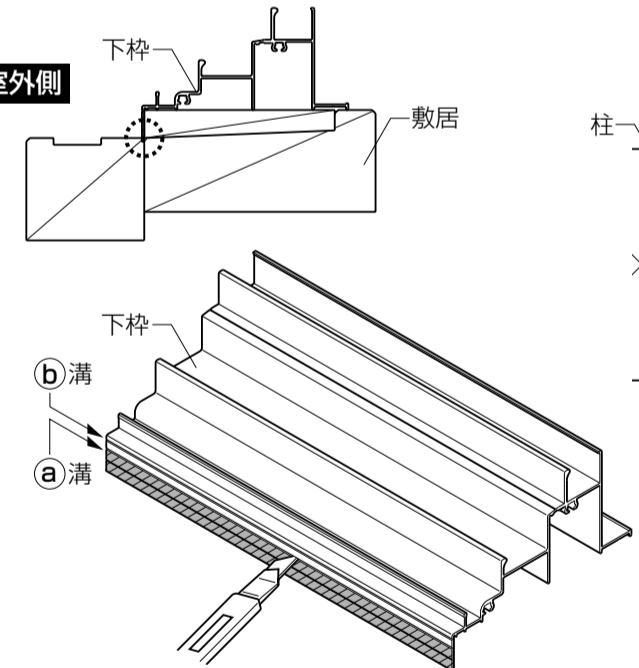


②釘打ちフィンが雨戸の一筋に当たってしまう場合は、当たる位置によって釘打ちフィンのV溝①②③(▶印)のいずれかにカッターで切込みを入れ、ペンチなどで折り取ってください。
※残った釘打ちフィンに、φ3のドリルで、代わりの釘穴をあけてください。

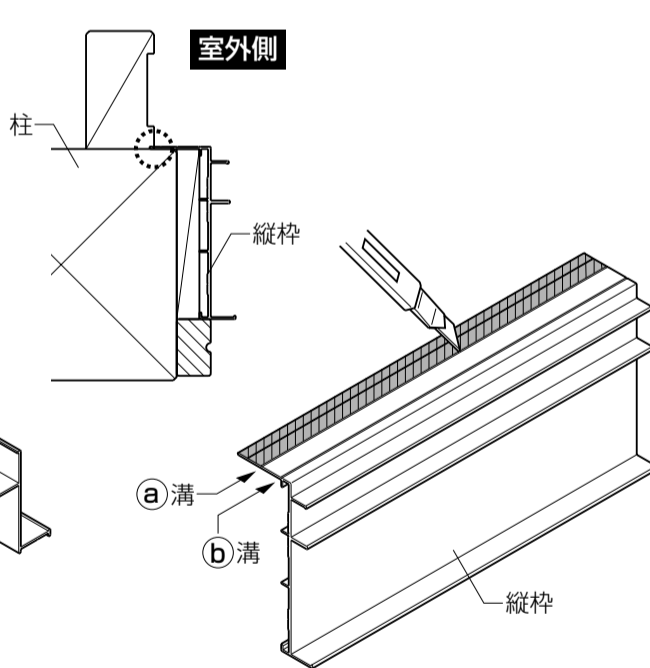
【上枠フィンが当たる場合】



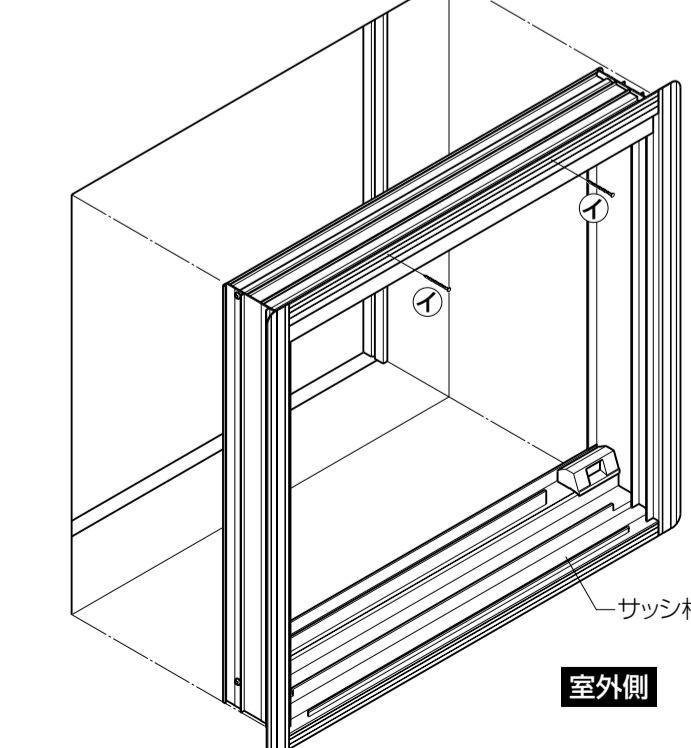
【下枠フィンが当たる場合】



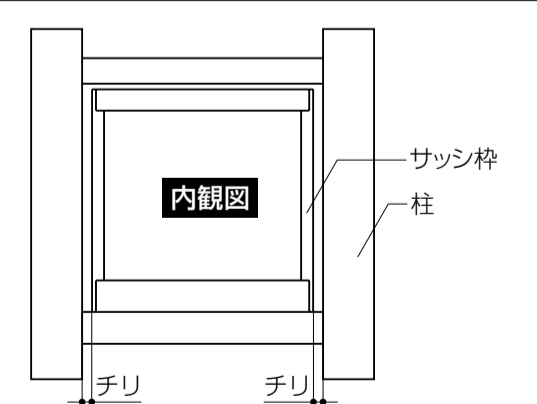
【縦枠フィンが当たる場合】



③枠を仮止めます。



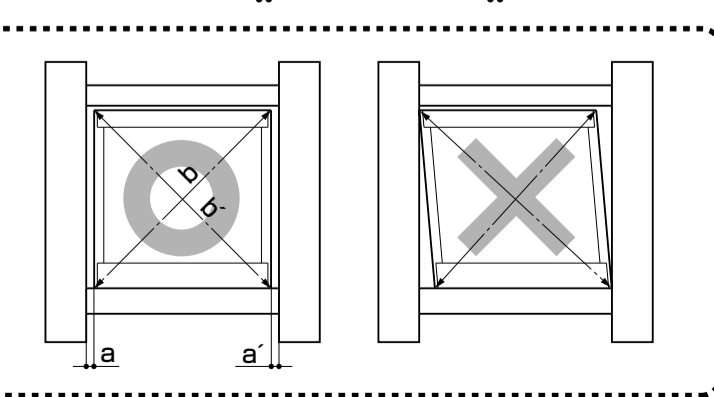
④下げ振り・水準器で、枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直します。枠は左右片側に寄せず、縦枠と柱のチリが、左右ともほぼ等しくなるように調整してください。
※テラス枠は、下部の左右のチリが等しくなるように調整してください。



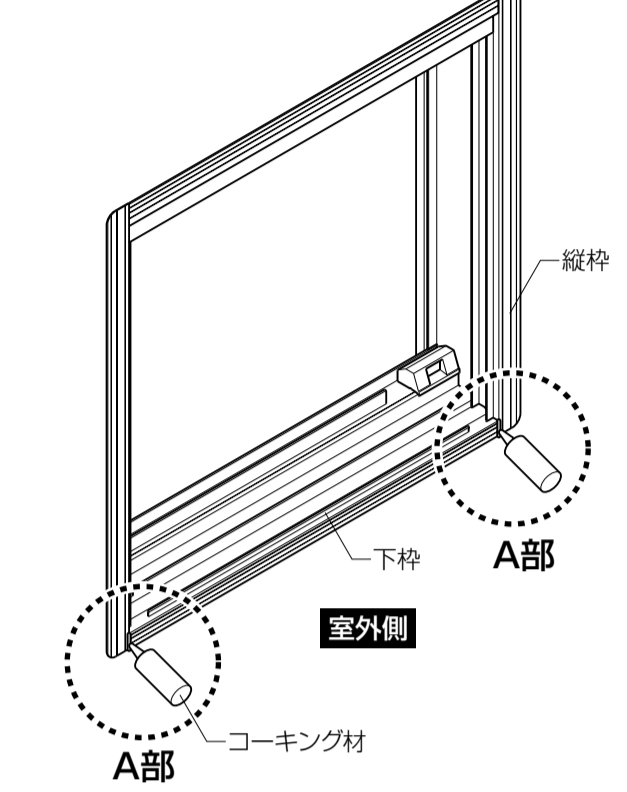
●お願い

●枠は、左右のチリと対角をほぼ等しくなるように調整してください。

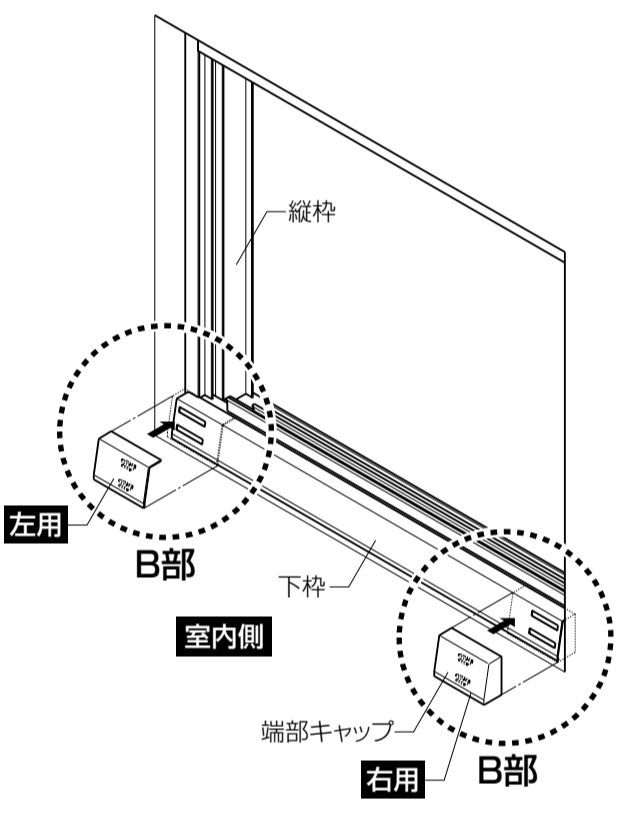
- ・チリ寸法：a=a'
- ・対角寸法：b=b'



2 シーリング処理



3 テラス下枠の端部キャップの取付け (テラス枠のみ)

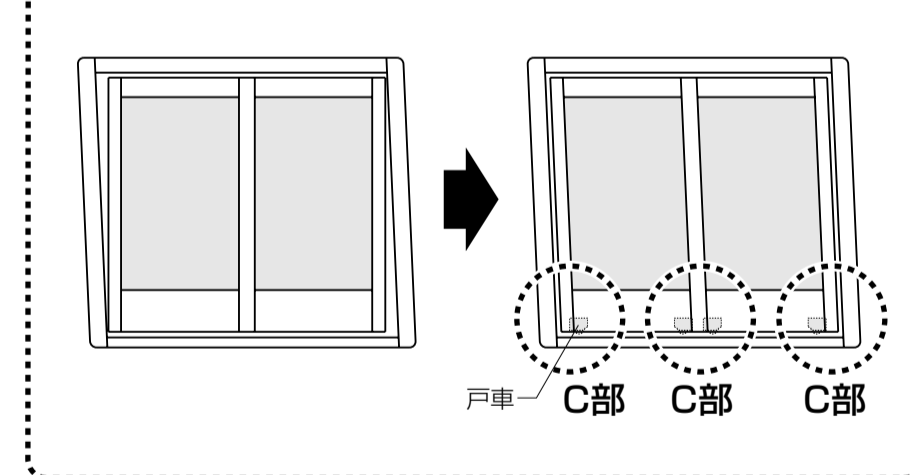


4 障子の建込み

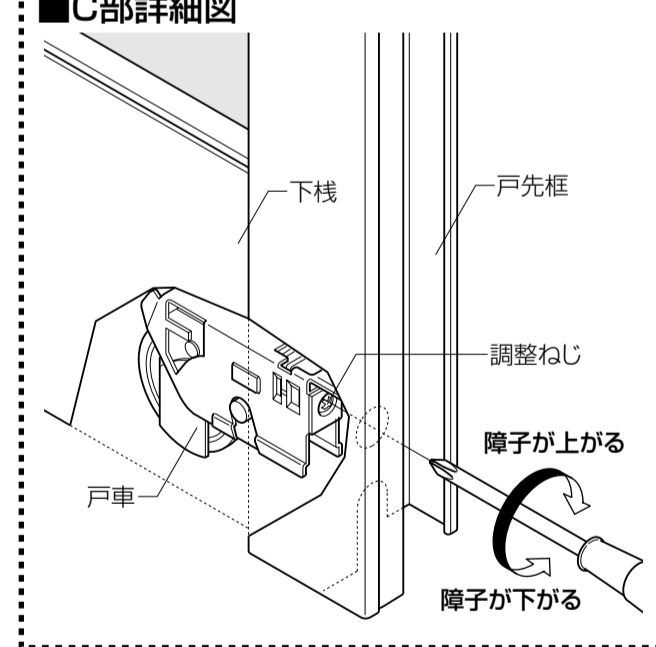
■建付け調整

■戸車の調整

●開口部に狂いが生じた場合は、障子を開口部に合せてください。

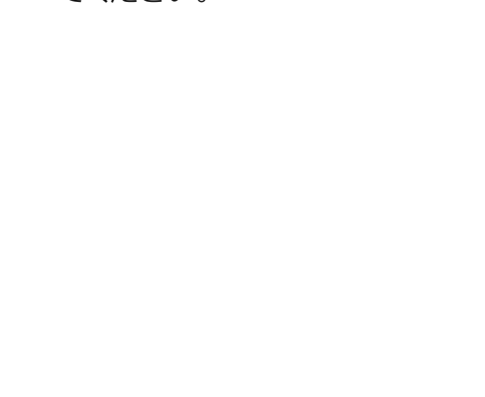


■C部詳細図

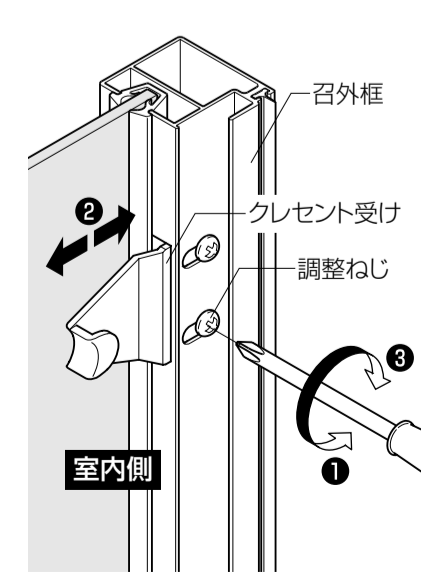


■クレセント錠の調整

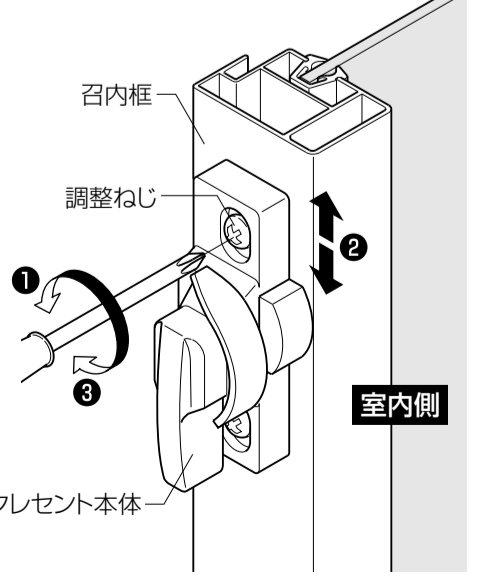
●クレセント錠がかからない場合や、クレセント錠をかけても障子がガタつく場合は、クレセント錠本体と受けを調整してください。
※調整後は、しっかりとねじを締めてください。



【左右方向の調整】

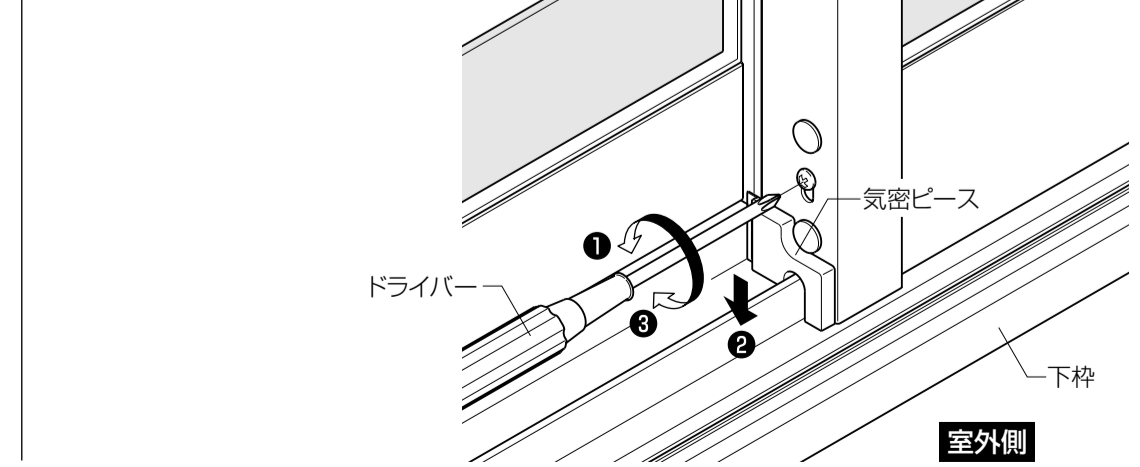


【上下方向の調整】



■気密ピースの調整

●障子を閉めた状態で、召合せ内・外の気密ピースを下げて、枠とのすき間をふさぎます。



⑤④スクリュー釘で四方枠を固定した後、④血木ねじで上枠・縦枠を固定し、⑤血木ねじで下枠を固定します。(テラス枠の場合は、下枠を⑤血木ねじで固定してください。)
※上枠と鴨居、縦枠と柱の間にかい物を入れてください。
※躯体取付けねじは、障子建込み前に固定してください。

■詳細図

- 上枠部
- 室外側
- 下枠部
- 室内側
- 縦枠部
- テラス下枠部

■A部詳細図

①施工場所など現場の状況により、雨仕舞が心配されるような箇所や、枠のゆがみにより、縦枠と上・下枠の釘打ちフィンにすき間ができてしまった箇所には、別途市販品のシーリング材でコーキング処理をしてください。

■B部詳細図